

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 26 年 1 月 23 日 (2014.1.23)

【公表番号】特表 2013-515100 (P2013-515100A)

【公表日】平成 25 年 5 月 2 日 (2013.5.2)

【年通号数】公開・登録公報 2013-021

【出願番号】特願 2012-544954 (P2012-544954)

【国際特許分類】

C 0 8 G 69/26 (2006.01)

C 0 8 L 77/00 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 G 69/26

C 0 8 L 77/00

【手続補正書】

【提出日】平成 25 年 11 月 27 日 (2013.11.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

A) 群 (I) のポリアミドからなる群から独立して選択されるポリアミド樹脂であって

、

前記群 (I) のポリアミドは、少なくとも 260 の融点を有し、および

(a) (i) 8 個から 20 個の炭素原子を有する芳香族ジカルボン酸および 4 個から 20 個の炭素原子を有する脂肪族ジアミン

からなる群の 1 種または複数種から選択されるモノマーから誘導される 95 モルパーセント超の半芳香族反復単位；と

(b) (ii) 6 個から 20 個の炭素原子を有する脂肪族ジカルボン酸および 4 個から 20 個の炭素原子を有する前記脂肪族ジアミン；および

(iii) 4 個から 20 個の炭素原子を有するラクタムおよび / またはアミノカルボン酸

からなる群の 1 種または複数種から選択されるモノマーから誘導される 5 モルパーセント未満の脂肪族反復単位と；

を含む、ポリアミド樹脂；

B) 0 重量パーセントから 60 重量パーセントの 1 種または複数種の補強剤；および

C) 0 重量パーセントから 50 重量パーセントの、反応性官能基および / またはカルボン酸の金属塩を含む 1 種または複数種のポリマー強化剤

を含む熱可塑性組成物であって；

前記重量パーセンテージは、前記熱可塑性組成物の全重量に基づき；前記ポリアミド樹脂は、少なくとも約 50 meq / Kg の酸末端を有する熱可塑性組成物。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0042

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0042】

ポリマー C は、マスターバッチ溶液が、7.0 kg の水、6.3 kg の 2 - メチル - 1, 5 - ペンタメチレンジアミン、2.6 kg の水中 28 重量パーセントの酢酸、および 1.5 g の Carbowax 8000 であること以外、ポリマー B と同じ処方および同じ重合法の条件を用いて作製した。

以下に、本発明の好ましい態様を示す。

[1] A) 群 (I) のポリアミドからなる群から独立して選択されるポリアミド樹脂であって、

前記群 (I) のポリアミドは、少なくとも 260 の融点を有し、および

(a) (i i) 8 個から 20 個の炭素原子を有する芳香族ジカルボン酸および 4 個から 20 個の炭素原子を有する脂肪族ジアミン
からなる群の 1 種または複数種から選択されるモノマーから誘導される 95 モルパーセント超の半芳香族反復単位；と

(b) (i i) 6 個から 20 個の炭素原子を有する脂肪族ジカルボン酸および 4 個から 20 個の炭素原子を有する前記脂肪族ジアミン；および

(i i i) 4 個から 20 個の炭素原子を有するラクタムおよび / またはアミノカルボン酸

からなる群の 1 種または複数種から選択されるモノマーから誘導される 5 モルパーセント未満の脂肪族反復単位と；

を含む、ポリアミド樹脂；

B) 0 重量パーセントから 60 重量パーセントの 1 種または複数種の補強剤；および

C) 0 重量パーセントから 50 重量パーセントの、反応性官能基および / またはカルボン酸の金属塩を含む 1 種または複数種のポリマー強化剤

を含む熱可塑性組成物であって；

前記重量パーセンテージは、前記熱可塑性組成物の全重量に基づき；前記ポリアミド樹脂は、少なくとも約 50 meq / Kg の酸末端を有する熱可塑性組成物。

[2] 前記ポリアミド樹脂が、少なくとも約 60 meq / Kg の酸末端を有する [1] に記載の熱可塑性組成物。

[3] 10 重量パーセントから 60 重量パーセントの 1 種または複数種の補強剤を含む [1] に記載の熱可塑性組成物。

[4] 2 重量パーセントから 20 重量パーセントの、反応性官能基および / またはカルボン酸の金属塩を含む 1 種または複数種のポリマー強化剤を含む [1] に記載の熱可塑性組成物。

[5] 前記ポリアミド樹脂が、ポリ (ヘキサメチレンテレフタルアミド / 2 - メチルペンタメチレンテレフタルアミド) (P A 6 T / D T) である [1] に記載の熱可塑性組成物。

[6] ポリ (ヘキサメチレンテレフタルアミド / 2 - メチルペンタメチレンテレフタルアミド) 反復単位の比率が 50 / 50 である [5] に記載の熱可塑性組成物。